

医療と看護の発祥物語

おおくにぬしのおおかみ

大国主大神の 冒険譚

豊かな自然に感謝する

おいしい手仕事

国宝を言祝ぎ
城下をめぐる

Guttokuru-Sanin

グッとくる 山陰

2015 Autumn 秋

ご自由にお持ち帰りください

Guttokuru-Sanin



平成27年7月国宝指定
国宝を言祝ぎ
城下をめぐる

国宝 松江城
Matsue Castle



松江城から続く遊歩道をのんびり歩いて約7分。赤い鳥居が鮮やかな城山稲荷神社。城山15年(1638)、松江藩主としてやってきた、徳川家康の孫、松平直政によって創建されます。境内で最も印象的なのは、千体を数えるという狐の石像。その中の唯一体だけが玉を抱えていて、見つけることができたなら、願いが叶うといわれています。

城山稲荷神社の式年神幸祭は、通称「ホーランエンヤ」。12年に1度(次回より10年毎)だけ開催される勇壮な神事は、日本三大船神事のひとつです。

城山稲荷神社

島根県松江市殿町449-2
アクセス/JR松江駅より路線バスで約10分
「県庁前バス停下車 徒歩約5分」
電話/0852-21-1389

流転の旅を経て佇む
不昧公好みの茶室

松江の大名茶人として知られる、松江藩7代藩主、松平不昧公の好みによって、安永8年(1779)に建てられた茶室は、茅葺の厚い入母屋造りの明々庵。時代に翻弄されて、松江赤山下、東京・原宿、東京・四谷、松江市と流転の旅を経て、現在、松江城を見通す北堀町の高台に、静かに佇んでいます。



明々庵

島根県松江市北堀町7-8
アクセス/JR松江駅より
路線バスで約10分
「塩見橋手バス停下車 徒歩約4分」
営業/8時30分~17時
電話/0852-21-9863
入館料/大人410円

定石にこだわらない不昧公好みの一端をあらわした軽快な茶室は、江戸末期を代表する数寄屋造りの数少ない名席。現在、その庵内に入ることはできませんが、明々庵を眺めながら、隣接する茶室で、薄茶と和菓子をいただくのも興です。



かみむかえさい 神迎祭

陰暦10月10日、国譲りの神話の舞台でもある稲佐の浜にて、海から出雲にお着きになる神々をお迎える神事。神迎神事が終わると、浜から出雲大社への神迎の道を長い行列が続く様子は厳粛。平成27年は11月21日がその日にあたります。写真は稲佐の浜。

稲佐の浜

場所/島根県出雲市大社町杵築北2844-73
アクセス/JR出雲市駅より路線バスで約25分
お問い合わせ/出雲観光協会
TEL:0853-53-2112

グッとくる山陰 秋号

発行元/JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2
0859 32 0255 *記載の情報は、2015年9月1日時点のものです。



山陰の隠れたお宝情報が満載!!

山陰いももの検索 右記QRコードからサイトへGO!



